

石川音文協



発行: 石川県音楽文化協会 金沢市 平和町 1-3-1 石川県平和町庁舎内 TEL 076-280-4311 FAX 076-280-4399 E-mail imca@po3.nsknet.or.jp



石川県音楽文化協会などは創立50周年関連事業として10月20～27日にオーストリア公演を行いました。

リンツのブルックナーハウスでは、県合唱協会合唱団が大切に歌い継いできたベートーヴェンの「ミサ・ソレムニス」を現地のブルックナー管弦楽団、合唱団と総勢170人で披露しました。ベートーヴェン晩年の最高峰と言われる壮大な響きに、現地の音楽ファンからも温かい拍手が贈られました。

一行は羽田空港、フインランドのヘルシンキで乗り継ぎ、小松空港を出発してから約27時間かけて、「音楽の都」ウィーンに降り立しました。

オーストリア公演には県合唱協会、金沢邦楽アンサンブル、県三曲協会の64人が参加しました。

20日には小松空港で出発式が行われ、団長の上口大介音文協理事長があいさつ、今回参加できなかつたメンバーも見送りに駆けつけてくれました。

一行は羽田空港、フインランドのヘルシンキで乗り継ぎ、小松空港を出発してから約27時間かけて、「音楽の都」ウィーンに降り立ました。

リンツに ミサ・ソレ響く

10月・石川音文協オーストリア公演



ブルックナー合唱団と夢の共演

リンツ近郊で生まれた作曲家ブルックナーの名を冠したブルックナーハウスで24日、ミサ・ソレ公演は行われました。

され、プロ、アマとも披露される機会は限られています。県合唱協会は1970年にアマの合唱団として日本で初めて同曲に挑み、以降60回の公演を重ねています。合唱団にとつ

て、特別な曲なのです。リンツでの公演が実現したのは、ウイーン国立音楽大学のダニエル・リントン教授を石川に招き、2度にわたってミサ・ソレ公演の指揮をしていただいたことがきっかけでした。石川の合唱団の取り組みが認められ、指



その日々が実り、公演当日は心を一つにベートーヴェンの大曲を披露することができました。客席には日頃か

て、現地の管弦楽団、合唱団と絆を深めました。

公演後にはサプライズも。ブルックナー合唱団が歓迎と感謝の気持ちを込めて、地元の曲をアカペラで歌つてくださったのです。手作りのお菓子を用意してくれたメンバーもおり、両合唱団は今回の公演実現の喜びを分かち合うとともに、別れを惜しみ、再会を誓いました。

一行は、ウイーンに到着した日から、長旅の疲れをものともせず、バスで片道約2時間半かかるリンツとウイーンを往復し、リハーサルや交流を通じて、現地の管弦楽団、合唱団と絆を深めました。

公演後にはサプライズも。ブルックナー合唱団が歓迎と感謝の気持ちを込めて、地元の曲をアカペラで歌つてくださいました。

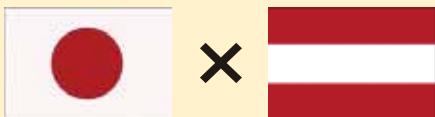


リントン氏(右)

、特別な曲なのです。リンツでの公演が実現したのは、ウイーン国立音楽大学のダニエル・リントン教授を石川に招き、2度にわたってミサ・ソレ公演の指揮をしていただいたことがきっかけでした。石川の合唱団の取り組みが認められ、指揮者のマルティン・ツ

エラー氏を紹介していました。一行は、ウイーンに到着した日から、長旅の疲れをものともせず、バスで片道約2時間半かかるリンツとウイーンを往復し、リハーサルや交流を通じて、現地の管弦楽団、合唱団と絆を深めました。

石川の文化紹介



再会を誓う

22日にはリンツの州
府舎で「日本文化体験
フェスティバル」が開
かれ、両合唱団がそれ
ぞれの文化を紹介しま
した。

音文協の一行は加賀
水引、生け花、茶道、
着物の着付けを紹介
し、箏、尺八の演奏を
披露しました。好奇心
心でした。

旺盛な現地の団員は箏
や尺八を弾いたり、抹
茶と菓子を味わったり
して石川の伝統文化に
触れ、目を輝かせてい
ました。

伝統のディアンドル
と呼ばれる民族衣装を
着た団員もあり、互い
の文化に理解を深めま
した。



席上、上口團長が、
オーバーエスター・ライ
ヒ州知事あての馳浩石
川県知事（石川県音楽
文化協会会長）の親書
を届け、震災復興を祈
念して輪島塗の花瓶を

贈りました。
親書を受け取ったマ
ルゴット・ナツツアル
文化社会課長は、昨年
に生誕200年を迎
たブルックナーがもつ
と日本で知られてほし
いとし、「石川とリンツ
の交流が実現できたこ
とは大変に意義深い」
とあいさつしました。





「音楽の都」ウィーンのカールス教会で23日に開いた「邦楽＆合唱コンサート」は、一行

にとつて貴重な機会となりました。カールス教会は、旧市街の世界遺産「ウイ



ーン歴史地区」に位置し、バロック建築の最高峰の一つに数えられ

「音楽の都」 カールス教会に歌声

ます。バロック画家ロットマイヤーによって描かれたフレスコ画も見どころで、連日多くの観光客が訪れていました。

この歴史ある教会でのコンサートは、ミサ・ソレ公演で指揮したマルティン・ツエラー氏が教会のオルガン奏者を務め、教会との橋渡しをしてくれたことで実現しました。

特に、箏や尺八などの和楽器がカールス教

会で演奏されたことは過去に例がないそうですが、ツエラー氏は和楽器の音が教会にマッチするか心配もしていました。

しかし、ふたを開けてみれば、箏や尺八の音は教会に見事になじみ、雅びな音が美しく響き渡りました。初めて和楽器の音色を聴いたという現地の人々は、スタンディングオーバーションで和洋の共演をたたえました。





今回披露したのは、
筝と尺八による「月下
美人」、合唱が加わつ

ての「さくら」「千鳥の
曲」、そして合唱団によ
る「3つのマリアの歌」

(周藤論作曲) です。
指揮は合唱団を指導
している音楽監督の石

川公美さん(ソプラノ
歌手)が務め、ソロの
歌唱でも聴衆を引き込

みました。

当日は、あいにくの
雨にもかかわらず、ミ
サ・ソレ公演で共演す
るブルックナー合唱団
のメンバーもリンツか
ら駆けつけるなど、多
くの聴衆が演奏、歌声
に聴き入りました。

とりわけ合唱団のメ
ンバーを感動させたの
が、教会の「残響」で
す。音を発し終えてか
らも続く響きのこと
で、カールス教会では
5秒の残響があつたそ
うです。一行は教会な
らではの莊厳な響きを
胸に、「音楽の都」での
大舞台を無事に終えま
した。



～名曲の生まれた土地の



風に吹かれて～



一行は多忙な公演スケジュールの合間を縫つて、観光も楽しみました。たくさんの音楽家が暮らし、名曲が生まれた街。晩秋のウイーン、リンツ、ザルツブルクを歩き、風に吹かれながら、音楽の本場の空気を肌で感じることができました。

オーストリア公演を通して磨いた感性は団員たちの大きな財産と

なったことでしょう。



一行がウイーンに着いたその足で向かったのがシェーンブルン宮殿です。16人の子を産んだ女帝マリア・テレジアが好んだイエローブルの外壁は美しく、豪華な宮殿内部や庭園は見どころたっぷり。末娘のマリー・アントワネットは15歳でフランスに嫁ぐまでこの宮殿で育ちました。



翌日からは『雪中の狩人』や『バベルの塔』などのブリューゲルコレクションが充実したり、ベルヴェデーレ宮殿でクリムトの『接吻』を鑑賞したりと、思い思に過ごしました。

国立オペラ座、シュテファン大聖堂、シシイ博物館、ケルントナーハイ通りを歩き、昼食は名物のシュニツツェルをいただきました。

ツレツには驚きました。ミサ・ソレを作曲したベートーヴェンのお墓まで足を延ばし、公演の成功を願つて手を合わせた団員もいました。道中、黄色く色づいた木々がとてもきれいででした。

ミサ・ソレ公演が行われたリンツは、ドナウ川の流れに寄り添う美しい街です。モーツアルトが交響曲「リン



ツ」を書き、ベートーヴェンが交響曲「第8

番」をこの地で完成させています。朝の散歩を楽しんだ団員もいました。

ザルツブルクでは旧市街を散策し、モーツアルトの生家を訪れました。ホーフンザルツブルク城を望み、映画「サウンド・オブ・ミュージック」のロケ地で「ドミラベル宮殿を歩くな



ど、駆け足でしたが、それぞれに思い出を心に刻んでいました。

◇ ◇

最終ページでは、ミサ・ソレ公演を指揮したマルティン・ツエラー氏から音文協にいただいたお令状の抜粋と、オーストリア公演に参加した団員（敬称略）をご紹介いたしました。



この度、貴団がオーストリアまでお越しくださり、私たちと共にベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》を演奏していただけたことは、私たちにとって大きな名誉であり、またこの上ない喜びでした。リンツのブルックナー・ハウスにて、貴団という素晴らしい日本の合唱団と共に演できたことは、私たちの合唱団にとっても忘れない、特別な経験となりました。

また、日本の伝統芸術の素晴らしい演奏を披露してくださり、心より感謝申し上げます。貴団のおかげで、私たちは日本文化への理解を深めることができました。ご厚意により頂戴した数々の贈り物、そしてご紹介いただいた楽器の数々は、私たちにとって大切な宝物となりました。あらためて、遠路はるばるお持ちいただいたすべての品々に感謝申し上げます。

今でも、私たちの合唱団のメンバーは、貴団と過ごした特別な時間について語り合っておりまます。音楽を通じて、皆様のご親切と寛大さ、そして卓越した音楽的才能を分かち合っていただいたことに、心より御礼申し上げます。

深い感謝と温かい思いを込めて

マルティン・ツェラー

2025年11月4日 ウィーンにて

オーストリア公演参加者

団長 上口大介（石川県音楽文化協会理事長・金沢市音楽文化協会理事長）

音楽監督・指揮 石川公美（ソプラノ歌手・合唱指揮）

副団長 佐藤修（石川県歯科医師会副会長）、谷保喜一（石川県合唱協会合唱団団長）

顧問 盛本芳久（石川県議会議員）、柿本章博（金沢市議会議員）

●石川県合唱協会合唱団

ソプラノ 池島とも子（会計）、池本久美子、大島千秋、河原尚子、北村栄美子、小関理穂、杉原由紀子、寺西俊子、中源和子、永栄久代、堀井雅子、三階尚子、見崎麻由佳、増山美音子、宮本秀子、矢寄満智子、安田世津子、横川かおる

アルト 相河一美、相原征代（通訳）、浅野久美子、稻葉幸子、倉島由紀子（事務局）、紺谷泰子、斎藤きよみ、土肥千寿、苗代律子、東方郁子、平野佳子、福村和佳子、守田八映子、吉谷久子、野島栄子、藪谷和子、山岸良子、吉田瑞躍子

テナー 池野孝、柿本章博、斎藤章、田中健太郎（通訳）、谷保喜一、谷本充

バス 荒尾洋光、大島功次、上口大介、佐藤修、佐藤哲夫、塚本孝久、矢寄孝裕

●金沢邦楽アンサンブル 小坂米子、地渡有希、徳本順子、浜田裕子、林春美

●石川県三曲協会・尺八 盛本芳久、山田恵一

●日本文化紹介 加賀水引：山岸佳子、池島とも子、生け花：水上富美子、茶道：林春美、着付け：寺西俊子

●一般参加 相河親人、新谷浩美、野島宏英、盛本立子

●広報・記録 本江亞珠佳